2026年11月22日発行

北千里教会だより

No.202



「今月の祈り」

主なる神さま。あなたの御名を賛美いたします。

秋の実り豊かな季節を迎え、今日、私たちが共に集い、収穫感謝の礼拝をささげることができ、感謝いたします。

私たちの食卓に並ぶお米や野菜、果物など、一つひとつの実りの背後には、あなたの恵みと、それを育ててくださった多くの方々の働きがあります。

当たり前のようにいただいている日毎の食べ物も、決して当たり前ではないことを覚える者です。与えられている恵みに感謝し、私たちもまた、誰かと分かち合い、互いに仕え合って生きることができますように、導いてください。

また、今朝はこどもとおとなの合同礼拝を守っています。こどももおとなも、あなたによって愛され慈しみの中で育まれたきた、あなたのこどもです。こどももおとなも、それぞれが与えられたかけがえのない命を大切にし、愛されていることを感じながら、健やかに過ごしていくことができますように。どうか、今朝の礼拝も終わりまで導いてください。

今、こうして私たちは静かに祈るひと時が与えられていますが、世界に目を向けると、今なお戦争や紛争により命を奪われている人々がいることを覚えます。静かなひと時、心休まる暇もない中で生きねばならない沢山の人々がいることを覚えます。また、私たちの身近なところにおいても、かけがえのない命の灯火が消えそうな思いで過ごしている方がいることも覚えます。

神さま、どうかそのひとり一人と共にいて支えてください。この世に誕生したすべての命が祝福される世界となりますように。誰もが、自分に与えられている生を肯定し、将来に夢と希望を抱いて生きる世界となりますように。どうか、あなたの愛がこの世のすみずみにまで行き渡りますように、切に祈ります。

そのために、私たちを用いてください。私たちも、それぞれに弱さを抱えて生きる者ですが、あなたによって愛され生かされている喜びを、少しでも隣人に伝えてゆくことができますように。

この祈りを、尊き主イエス・キリストの御名によって御前におささげいたします、

アーメン。

日本キリスト教団
北千里教会

牧師　　宮岡　真紀子

〒565-0873　大阪府吹田市藤白台４丁目５－10
電話　　（06）６８３４－０９７８
郵便振替　　００９４０－２－１３１５８３
口座名義　　日本基督教団北千里教会
kitasenri.ch@gmail.com
https://www.kitasenrikyoukai.info/

教会員のページ

「クラシックオルガン」がやって来る！

中台　聡

週報の 50 周年記念委員会オルガン担当の欄に自分の名前を見つけた時に、これは「えらいことになった」と思った。教会にとってオルガンはとても大切な設備だからだ。音楽は好きだけど、オルガンに関しては全く明るくない。自分に務まるだろうか。まずは YouTube で「パイプオルガン」などのワードで検索し動画を見まくった。毎日の通勤電車ではオルガン動画の視聴、昼休みは取り扱い店や製品仕様をネットで調べる日々となった。

そうこうしていると、知らず知らずのうちに、その音色に魅了されていく自分に気づいた。そしてこれらの作業が全く苦にならず、むしろその音色を聴くことで心が落ち着くのだ。こんな素晴らしい音色を教会の礼拝で聞けたら、心や身体が疲れた時に教会員だけではなく、それ以外の人たちにも聞いてもらえたら、という思いが強くなっていった。

購入にあたり、奏楽者の皆様にご協力いただき検討している機種の試奏が必要だ。しかし試奏できる機材が東京か福岡しか無いという。さて、どうしたものかと途方に暮れていると、なんと全く同じ機種を堺市の日本基督教団希望ヶ丘教会に納品したという知らせが届いた。しかもその教会の牧師先生は真紀子先生のお知り合いという。なんとも嬉しい偶然。早速、堺まで奏楽者の皆さんと車を走らせた。

希望ヶ丘教会は最近会堂を建て替えられ、その際にオルガンも新たに更新されたとのこと。きれいな会堂も相まって、試奏の音色は本当に美しいものだった。2026 年 9 月 27 日、臨時総会で教会員の皆さんの承認をいただき、この度購入の運びとなった。どうぞこのオルガンが北千里教会にあって、主の御わざの貴重な道具となりますように、心からお祈りします。

〈購入機種〉VISCOUNT クラシックオルガン Domus 4（イタリア製）
〈納品時期〉2027 年 2 月上旬　※内装工事終了後納品
※現存のリードオルガンも残しておき状況に応じて使用する予定です。
この記事についての写真を受付の掲示板に貼り出しています。是非一度ご覧下さい。


